



広報

なかつえ

寒風に
吹かれて



張りつめる冷たい空気の中
くすんだモノトーンの
世界がひろがる
あたり一面をおおう
朝もやの中から
きらきらと輝きながら
朝陽が顔をのぞかせる
また新しい日が始まる

人口と世帯数

(11月末現在)

人口 1,475人(-11)
男 697人(-6)
女 778人(-5)
世帯数 480戸(-2)

94 / 12

見つけられましたか？ ぼくらの村の良いところ

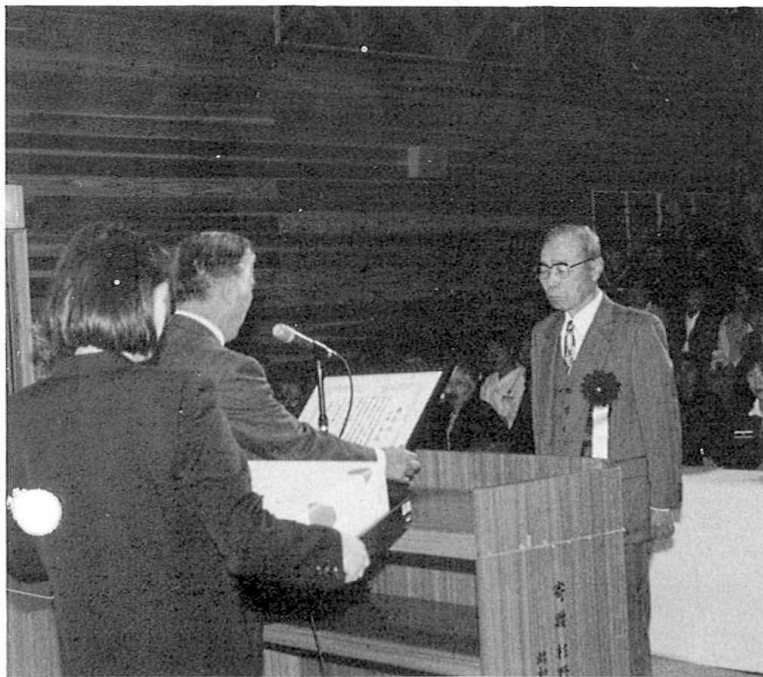
第14回 ふるさとまつり

完成したばかりの村民ホールは、木の香りが全館に漂い、十一月二十三日のふるさとまつりでフレッシュオープン。晴天に恵まれた当日は、風は少し冷たかったものの、真新しいホールでのふるさとまつりは多くの人々でにぎわいました。

水と緑に恵まれた中津江村に住む「人」、この地で生産された「物」、そして人と物とが織りなす「文化」をテーマに開かれたまつりは、実りの秋、文化の秋、食欲の秋が交錯するバラエティーに富んだものとなりました。さて、自分の村のよいところは見つかりましたか。

オープニング

ふるさとまつりのオープニングは、ホール内のステージで行われた開会行事。今年の功労者表彰を受ける川津一冬さんをはじめ四人の表彰者、農林産物品評会の入賞者七人がステージ上に並び、晴れの表彰を受けられました。明るいライトに照らし出された人達は、より一層光り輝いていました。



▲表彰を受ける川津さん

音楽発表会

オープニングに引き続き行われたのは子供達の音楽発表会。今年初の企画、保育園児のかわいい歌声でスタートした発表会は、中学生の堂々としたコーラスへと、そしてそれぞれ三つの小学校では最後の合奏、合唱へと。各校とも特色のある素晴らしい出来ばえでした。今後、ホールの利用も音楽関係を中心になっていくことでしょう。

▼ホールに響く唄声



芸能発表会 文化教養展

続いてホールステージでは、地元の芸能発表会が行われ、日頃あまりみていただく機会のない踊りや歌の発表がありました。ホールに響きわたる太鼓の音や見事な舞踊に拍手の連続。又、ホール入り口に所狭しと並べられた公民館講座や児童生徒の作品展。なかなかの秀作ぞろいで、一日で撤去するのはもったいない作品ばかり。ホールでの常設展も今後考えられるでしょう。

今年元気
農産物品評会

昨年は長雨に泣かされた農産物。今年は少雨と夏の暑さに見舞われましたが元気に育ちました。農産物品評会への出品は全部で二百五十点あまり、昨年とほぼ同じ数の野菜や加工品が駐車場の特設展示台に所狭しと並べられました。

そして午後からは、お馴染みのせり売り。威勢のいいかけ声とともに、新鮮な野菜が次々とせりにかかれていきました。

にぎやかな食市場



おいしそー
食市場

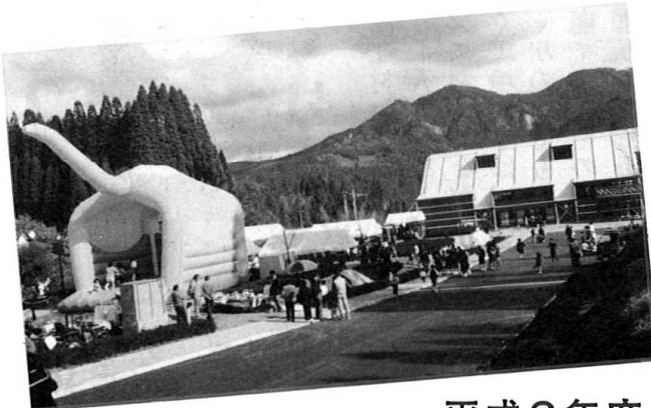
まつりのもう一つの楽しみが食すること。今年のバザーの味はどうだったでしょうか。

八つの会が開く食市場には、焼きそばやカレー、ぜんざいなどいろいろとおいしそうな匂いが立ち込め、食通の舌を誘っていたようです。以前と違い、もつ鍋や猪どんぶりなど年々メニューが新しくなるバザー会場。さて、来年はどのような味が現れることでしょう。

富くじも
ありました

そして、まつりの最後を飾ったのが今年の目玉、富くじの抽選会です。会場となったホールの入りに、今や遅しとくじの半分を握りしめた人たちがいっぱいとなりました。

江戸時代よろしく、袴姿を身にまとい、村長が引き当てた一等、五万円の旅行クーポンは宮田の衛藤さんの手に。どうぞ有効にお使いください。

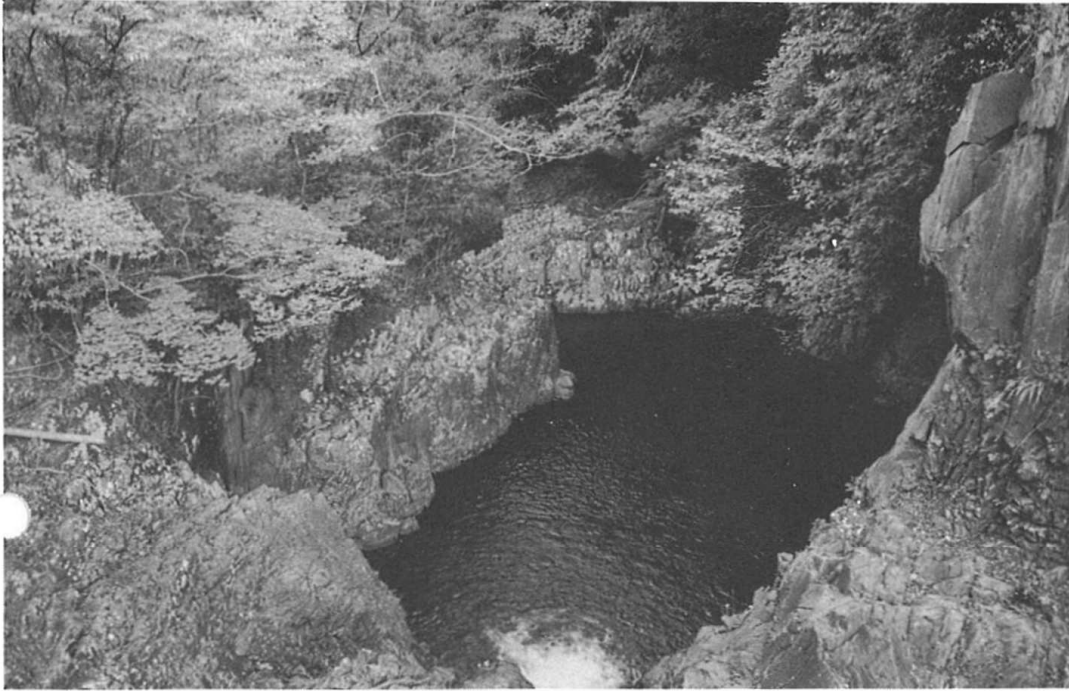


平成6年度 功労者表彰

氏名	表彰等の事由
川津 一冬 (永年勤続) (産業振興)	昭和57年から12年間の長きにわたり、津江農協の理事に就任、特に平成元年からの3年間組合長としてその重責を全う、合併農協の中心的役割を果たし、先頭に立って農業の発展に尽力。
杉埜 啓子 (永年勤続)	昭和38年11月に野田小学校給食係として勤務以来、平成6年3月退職までの30年あまりの長きにわたり、学校給食並びに保育所給食の業務に高度な衛生管理のもとに職務を全うした功績。
中原ユクエ (永年勤続) (社会的徳行)	昭和35年母子会に入会し、昭和40年理事に選任されて以来、副会長、監事を経て昭和57年に会長に就任、通算18年間役職を歴任。母子会活動の向上はもちろん、会員の厚生指導に尽力。
真弓タマノ (永年勤続) (社会的徳行)	昭和30年母子会発足と同時に入会、昭和38年から16年間の長きにわたり会長の職務を全うし、退会されるまで会員の指導に当たり、母子会活動の向上に寄与した功績。

せり売りにも気合いが

▼豊かな自然は村の宝！



身近かなことから始めよう

自然を守る試みを

○―廃油によるせつけんづくりー○

中津江村の豊かな自然を守ろう―人と自然がよいバランスを保ちながら進んでいく環境作りは、今後の村づくりの中でも大変重要な課題です。その中でも筑後川源流地域として、川の清流を守っていくことは決して人事ではありません。

こうしたことに早くから目を向けている婦人のグループが、今回液体の廃油石けん作りにチャレンジしています。平成二年、商工会婦人部の有志をはじめとする少人数のグループではじめた廃油石けん作り、自宅の廃油を持ち寄っては手作りの石けん作りを続けてきました。その後、先進地への視察などを通して水環境を守る大切さを、各種イベントを通じて村民にアピールしてきました。最近では

商工会婦人部を中心としてEMボカシの作成を行うなど環境を守る活動が盛んになっています。

そして、固形ではつくる量にも使い方にも限界のあった廃油石けん作りも、液体のものができることにより有効な活用が期待されます。川を守る活動は決して難しいことはありません。廃油石けん作りに興味のある方、お気軽に役場住民課保健婦へお問い合わせください。



▶試作品に挑戦

新春は、出初式がおもしろい

毎年、新春を飾る中津江村消防団の出初め式。消防団の年に一度の晴れ舞台とあって、年末幾度となく練習を繰り返しています。

さて、来年の出初め式は例年になく意気の上がるものにしようと様々な趣向をこらしています。操法点検では実際に水を出して火元に見立てたくす玉を割ったり、ラッパ隊による演奏を行なったりと今までにない華やかな出初め式になるようです。また、保育園児による鼓笛隊の演奏などのアトラクションを楽しんでもらったり、だご汁のサーブスも計画しています。お正月には是非、消防団出初め式へおいでください。なお、日程は次の通りです。

日時 平成七年一月六日
(金)

午前九時三十分より

場所 津江中学校グラウンド

受賞

平成6年度 才能開発実践教育賞

～川辺小学校の安全教育～

日頃の活動が大切です



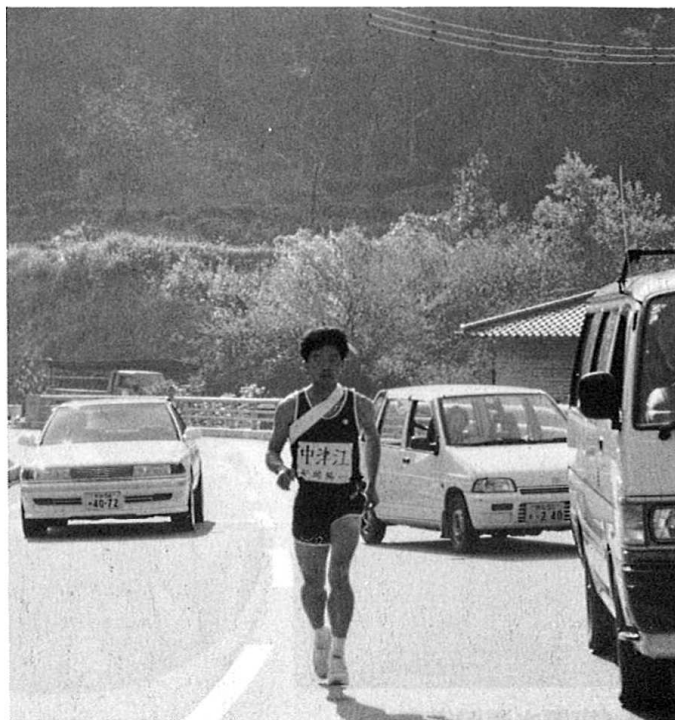
才能開発教育研究財団が主催する「才能開発実践教育賞」を、見事川辺小学校が受賞しました。この賞は教職員、生徒が一体となって教育実践活動に取り組み地域社会の協力を得ながら、確かな教育の成果を上げ、さらに将来にも期待がもてる学校に贈られるもので、今年で三十九回目。大分県下で四〇〇を超える小学校の内、受賞したのは川辺小学校だけ。川辺小が受賞し

たのは、平成四、五年度の二年間にわたって「自ら進んで安全に行動できる子供の育成」を主題に、学級活動で組織的に継続して取り組んできた結果です。各学年ごとにテーマを設定、雨の日の歩き方や水中での事故の処置法など実際に即した課題を決め、自分の判断に基づいて安全に生活できるように勉強を重ねてきました。表彰を受けたことももちろんですが、研究の成果が日頃の生活に現れ、親の運転マナーを注意できるようになった事などは大変素晴らしいことです。

日頃の練習の成果です

日田郡内一周駅伝大会

～ 大健闘の第二位



日本の冬の代表的スポーツとして定着した駅伝。日田郡各町村対抗の駅伝大会も恒例となり、今年も十一月十三日上津江から天瀬までの八区間、四二・五kmのコースで健脚を競いました。日頃の練習が物を言うこの競技、年々高齢化(?)する選手達は、時間に追われながらも日々の鍛錬を忘れずがんばりました。九州一周駅伝に出場する強者を相手に回しながらも快走を続け、見事二位でゴールイン。選手の皆様、お疲れさまでした。来年もがんばってください。

雨の少なかつた梅雨
とても暑かつた夏

今年も変な
天候でした

成年をふりかえって.....

▼走ろう歩こう会 (1/8)



▲出初式 (1/4)

一月(睦月)

二月(如月)

三月(弥生)

四月(卯月)

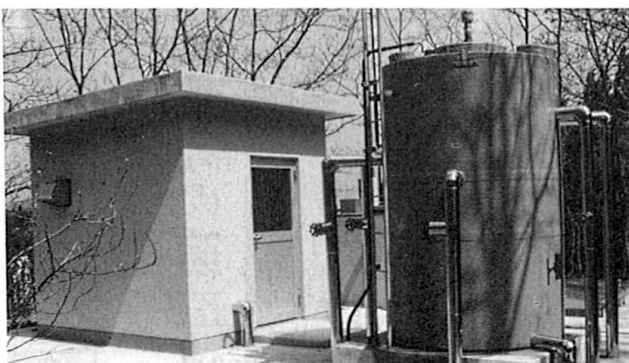
五月(皐月)



▲満開の桜に囲まれ
(4/10桜まつり)



▲女性パワー爆発 (3/6女性のつどい)



▲環境整備に一役 (宮園水道設備完成)



▲激走/MTB大会 (3/21)

六月(水無月)七月(文月)八月(葉月)九月(長月)十月(神無月)十一月(霜月)十二月(師走)

▼しもこみもりしく (7/5 もちつき祭)



▼とっても暑かった夏



▼賑やかに華やかに (金山まつり)



▼文化の殿堂に (村民ホール落成式 11/19)



▲各校最後の運動会 (9/25)



来年は
飛躍の年でありますように!

▲水不足で立ち枯れた稲も

今年最後の体づくり

チームワークこそ命です

—自治公民館対抗ミニバレーボール大会—



全自治公民館、二十チームの出場となった今年のミニバレーボール大会。今回で四回目の本大会は、十一月十五日から十八日までの四日間、連夜にわたって熱戦を繰り広げました。村民の多くが参加するスポーツ大会も今年が最後とあって、人数の少ない公民館では小学生からお年寄りの方まで、人をかき集めての参加となっていたようです。

- 各パート優勝チーム
- Aパート…ノースサイド
 - Bパート…山本
 - Cパート…市ノ瀬
 - Dパート…鯛生A

た行事を行うことが少なくなつたのではないでしょうか。こういう機会に親睦を図り、地域を生き生きとしたいのも大切です。

年末年始の日曜当番医

※都合で変更になる場合があります。
※急患に限ります。

内 科				外 科		
月 日	病医院名	所在地	TEL	病医院名	所在地	TEL
12 29	井上内科	田島本町	22~4700	若宮病院	南元町	22~7171
	隈診療所	隈1丁目	22~0033	五反田胃腸科外科病院	若宮町	23~8386
	天野医院	中央2丁目	22~2255	酒井医院	港町	22~2662
1 1	新関(内)医院	田島2丁目	24~3355	秋吉外科・内科	豆田町	23~0808
	岩尾(内)病院	淡窓2丁目	22~6161	大河原病院	隈2丁目	22~3131
	佐藤内科医院	田島1丁目	22~1170			
3	膳所医院	本町	22~3292	原胃腸科病院	三本松2丁目	22~7151

ふれあいパーティに参加を

地域発展のためには、若者の柔軟な発想と行動が最も重要であると思われまふ。働き場所の確保も大切ですが、地域で結婚することも大事なことです。

そこで、日田玖珠地区で縁結びのお手伝いをボランティアで取り組んでいる「天領縁結びの会」ではこの度、日田玖珠地区内の若者が集う「ふれあいパーティー」を企画しています。気軽に参加してみたいはかがでしようか。

日時 平成7年2月11日(土)
場所 日田松柏園シティホール
会費 男性 4,000円
女性 2,000円
資格 日田玖珠内の独身の方
申込 1月末までにシティホール内天領縁結びの会事務局へ 22-1155

お知らせ

通信教育を受けませんか

県下でただ一つの通信制高等学校頌信高校では、高校卒業の資格を得ようとする人たちを対象に7年度の生徒を募集しています。学科は普通科ほか4学科で、入学試験はなく、書類選考で入学できます。

願書受付 3月1日～3月31日
学習期間 4年間

願書希望の方は切手 190円を同封して申し込んでください。
〒870

大分市上野丘2丁目10の2
大分県頌信高等学校
☎0975-43-9339

あなたの技術をみがいて

日田高等技術専門学校では、技術革新の進展に伴い地域ニ一

ズにあった訓練内容に充実をめざしています。今回7年度の在校生を次のように募集します。

◆科目・定員

☆情報ビジネス科
定員20名 高卒以上
☆住宅施工科
定員30名 中卒以上

◆期間 1年間

◆願書受付

平成7年1月6日～
1月31日

◆問合せ 日田高等技術専門学校

23-6405

ご寄付お礼

■二又公民館へ

〈香典返し〉

水野 吉弘様……

20,000円

〔慶弔〕

◆お悔やみ申し上げます

市ノ瀬 塚本 周蔵様

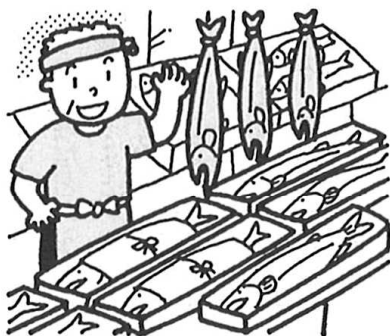
「あらまきさけ」は、荒巻鮭または新巻鮭と書きます。荒巻という言葉が使われるようになったのは、荒縄で鮭を巻いておいたからだといわれています。しかし最近では、新巻鮭と書いて売っている店が多いようです。内臓をとって甘塩にし、香りと味わいが塩鮭などよりもいいのが特徴です。健康のための減塩の普及、輸送方法の進歩、冷蔵庫の普及からでしょうが、昔のような塩辛い鮭は、あまり見かけません。ちよつと古い歳時記を見たら、「近ごろは鮭は少なくなつた……」とありました。しかし、最近では稚魚の放流技



暮れになると、市場やデパートなどは歳末商品を買求める人でにぎわいます。こうした売り場などでは、おせち料理の材料や松飾りなどとともに「あらまきさけ」が出回ります。

新巻鮭

「あらまきさけ」は、荒巻鮭または新巻鮭と書きます。荒巻という言葉が使われるようになったのは、荒縄で鮭を巻いておいたからだといわれています。しかし最近では、新巻鮭と書いて売っている店が多いようです。内臓をとって甘塩にし、香りと味わいが塩鮭などよりもいいのが特徴です。健康のための減塩の普及、輸送方法の進歩、冷蔵庫の普及からでしょうが、昔のような塩辛い鮭は、あまり見かけません。ちよつと古い歳時記を見たら、「近ごろは鮭は少なくなつた……」とありました。しかし、最近では稚魚の放流技術が進み、回帰率が4%くらいに上つたそうです。さて、新巻鮭を年末に買ひ、お正月に食べるところは、東日本に多いようです。西日本のほうでは、ブリ、カツオ、サバなどでお正月を祝うところもあります。お正月のもちも丸もち、切りもちなど地方によつて違います。魚も、同じような特色があるようです。あなたのお宅は鮭ですか、ほかの魚ですか。歳末には、援助を必要としている人々もいます。十二月は「歳末たすけあい運動」が行われます。こうした人たちが、その家族が明るいお正月を迎えられするように、みんな協力したいものです。



消防ラッパ隊

誕生!

消防団というと、どうも堅苦しいイメージがあるようですが、今年九月に消防ラッパ隊が誕生、消防団の華となりそうです。

平成六年度の宝くじ助成事業「ふるさと消防団活性化助成事業」で編成されたラッパ隊は、各分団一名、計五名の精鋭達。十月にその技を磨くため、消防学校でみっちり練習を積んできました。楽器をはじめて手にする人もいて思い通りにはならないようですが、現在週一回の練習をこなしています。皆さんの前にお目見えするのは来年一月の出初め式。どうぞ、お楽しみに。



酒呑童子

もみじまつり

十一月六日、市ノ瀬川流域で「酒呑童子もみじまつり」が行われました。

酒呑童子山麓の素晴らしい紅葉と川の清流を都会の人々にPRしようと市ノ瀬のふるさと振興会が実施しているもので、今年もおいしいだご汁やヤマメの塩焼き、よもぎ餅、きのこ飯などが大好評で、あつと言う間になくなってしまいました。その他にもゲートボールやヤマメのつかみ取りなど楽しい催しが行われ、美しい紅葉やきれいな川の流れなどを満喫していた様子。いつまでも美しい自然を残していきたいものです。

つれづれ

十二月だというのにこの暖かさ……といった方が正しいのだろうか、わが家ではすでに早くから電気ごたつを引っぱり出し、先月下旬にはストーブも登場している。平年より暖かいといわれても、何しろあの夏があまりに暑かったせいであろうか、最近とても寒くなつたような気がしている。

十二月、師走、年の瀬、それでもないのに何やら忙しく、気ぜわしい気分がさせられる。といったわけで広報も今年の最終号。くだらないことばかり書き記してきたこのつれづれ、自分勝手なことばかりでとても編集後記にはほど遠く、皆さんからの叱責が聞こえてきそうである。いっそのこと「喜怒哀楽」とでも名前を変え、開き直るつもりだ。

来年こそは「まともな取材と正確な記事を」と今のところ自分に言いきかせている。

皆さん、良いお年をお迎えください。